

あさか い もの 朝霞生き物マップ



あさか し と し けん せ つ ぶ ち り 公 園 課
朝霞市都市建設部みどり公園課

2019年2月改訂

■生物多様性とは

この地球上には、動物や植物など、多くの生き物がいます。それらの生き物や、生き物同士の関係の豊かさのことを生物多様性といいます。わが国には、9万種以上の生き物がいます。朝霞市にも、水辺や樹林地など、私たちの身近に多様な生き物がすんでいます。

■3つの多様性

生物多様性には、①遺伝子の多様性、②種の多様性、③生態系の多様性の3つがあります。

①遺伝子の多様性

同じ仲間として分けられる生き物の集まりを種といいます。同じ種の中だけでも遺伝子は1匹ずつ違います。また、地域によって遺伝子が特徴を持つこともあります。

個体ごとの遺伝子の違いの例

同じ種のテントウムシでも、遺伝子の違いによって模様が変わります

地域ごとの遺伝子の違いの例

日本のミナミメダカは遺伝子の違いで9つの型に分類できます

山陰 東瀬戸内 西瀬戸内 大隅 琉球

②種の多様性

一つの生き物の集まりに含まれる種の多さを表します。また、種の数だけでなく、それぞれの種の生き物の数のバランスがとれていることも、多様性の指標となります。

種の多様性が低いとき

1種の生き物が病気等で減ると、数のなくなった小鳥やタカ等のほさん類も減ってしまいます

種の多様性が高いとき

1種の生き物が減っても、他の生き物がいるため小鳥やタカ等のほさん類は減りにくくなります

③生態系の多様性

太陽の光や水、土の養分等が循環する生き物のつながりを生態系といいます。森林、里地里山、河川、湿原、干潟、サンゴ礁等、様々な環境に応じた生態系があります。

問合せ：朝霞市都市建設部みどり公園課 〒351-8501 埼玉県朝霞市本町 1-1-1
電話：048-463-0374 (直通)
FAX：048-463-9490

このマップに掲載した画像の無断転載・複製を禁止します。

指標種とは

生き物がある場所に住むためには、エサがとれ、巣作りや産卵などができる環境が必要です。そして、生き物の種によって必要な環境は違ってきます。そこで、どのような生き物がいるか調べることで、そこがどのような場所か知ることができます。



外来生物について

人の活動によって外国から入ってきた外来生物の中には、生態系に悪い影響を与えるものがあります。昔からいる生き物を守るために、そうした外来生物を日本に入れないこと、野外に捨てないこと、既にある場所からひろげないことが大切です。

写真の提供者を裏面に記載しています。

草地・畑など	ヒバリ 指標環境：自然/半自然的なオープンスペース 見られる時期：一年中 特徴：スズメより少し大きく、草茎や樹等でよく見られます。音に空高く飛びながら「ピーチュルピーチュル」と鳴いています。	
雑木林で見られる生き物	アオグサ (県：地帯別危惧) 指標環境：良好な森林 見られる時期：一年中 特徴：ハトくらいのおおきさで濃い頭と黄緑色の背中、茶と白のシマ模様の羽が特徴です。木をつついて穴を開けるキツツキの仲間です。	
雑木林で見られる生き物	ノキリクワガタ 指標環境：落葉・常緑広葉樹林 見られる時期：6~9月 特徴：クワガタムシの幼虫は倒れてくさった木を食べて腐ちます。成虫になると、クヌギなどの樹液に集まります。	
雑木林で見られる生き物	キツネノカミソリ (県：準絶滅危惧) 指標環境：落葉広葉樹林 花の時期：8~9月 特徴：地面近くに広げた葉が夏ごろに枯れると茎を30~50cmくらい伸ばして、オレンジ色の花をいくつか咲かせます。	

湿地で見られる生き物	トウキョウダルマガエル (県：準絶滅危惧 国：準絶滅危惧) 指標環境：湿地性の種が生息しやすい環境 見られる時期：4~9月 特徴：水田や浅い池等の水辺で見られます。背中に緑色の線と黒っぽい斑点がありますが、模様や色が個体によって大きく違います。	
川や池で見られる生き物	トダスグ 指標環境：良好な湿地環境 花の時期：4~6月頃 特徴：丸く小さな粒が円柱状に集まった穂の先に白く小さな穂を3~4本つけます。	
川や池で見られる生き物	カワセミ 指標環境：魚が豊富な河川 見られる時期：一年中 特徴：スズメより少し大きく、青とオレンジの鮮やかな体の色が特徴です。魚や水生昆虫を、水に飛び込んで捕まえます。	
川や池で見られる生き物	アユ 指標環境：ややきれいな水(水質階級Ⅱ) 見られる時期：4~9月 特徴：背中が緑で、腹が銀白色をしています。アユはキュウリやスイカのような、独特の香りをしています。	
川や池で見られる生き物	ハグロトンボ 指標環境：水辺と森林がある多様な環境 見られる時期：6~10月 特徴：金属のような緑色をした胴と、黒い羽が特徴です。幼虫(ヤゴ)は水中に、成虫は雑木林のふちに住んでいます。	
外来生物	アライグマ (特定外来生物/生態系被害防止外来種) 原産地：北アメリカ 特徴：頭からお尻までは40~60cmくらいで、目の周りが黒い顔としま模様のしっぽが特徴です。タヌキはアライグマに似ていますが、しっぽの模様がなく、足は黒色です。	
外来生物	ミシシippアカミミガメ (生態系被害防止外来種) 原産地：アメリカ 特徴：甲羅が約30cmになる中型のカメです。頭の周囲に赤い模様があるためアカミミガメと呼ばれますが、本当の目はその後ろにあります。雑食性で、他のカメの卵を食べてしまうことがあります。	
外来生物	ナガミヒナゲシ 原産地：ヨーロッパ 特徴：橙色~紅色で花びらが4枚の花をつけます。とても小さい種が多く入った種類い実をつけるヒナゲシという意味で「ナガミヒナゲシ」の名前がつけました。	

朝霞市で見られる生き物たち

草地・農地などの開けた場所で見られる生き物



ツグミ ヒバリ ニホンカナヘビ



ツチイナゴ シロツメクサ ツユクサ

樹林地で見られる生き物



アオゲラ ウグイス オオタカ



タマムシ オオスズメバチ ヤマブキソウ



シジュウカラ ノコギリクワガタ シロテンハナムグリ



ヤマユリ ウラシマソウ キツネノカミソリ

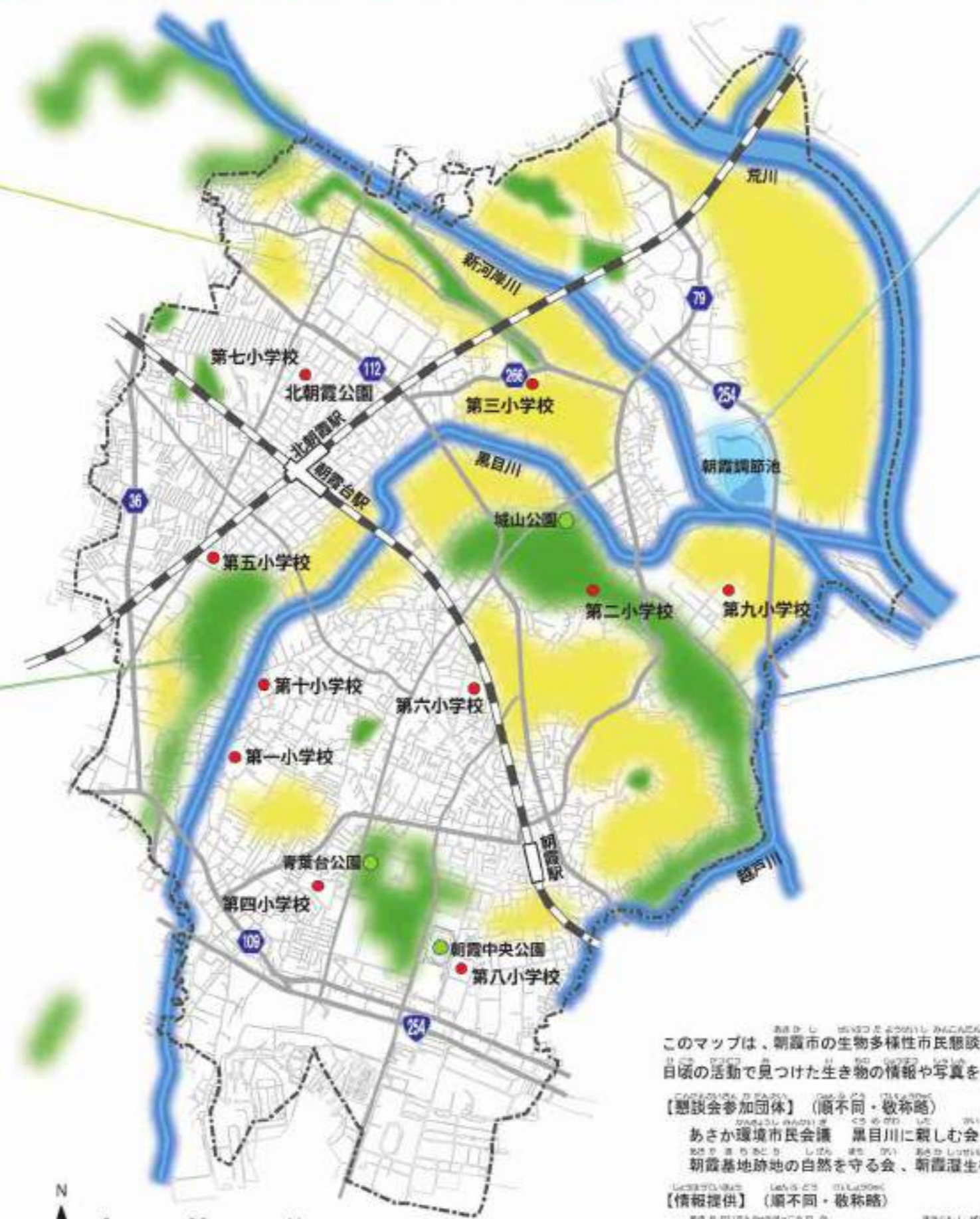
外来生物



アライグマ ウシガエル アメリカザリガニ



オオキンケイギク オオブタクサ セイタカアワダチソウ



湿地で見られる生き物



トウキョウダルマガエル オニヤンマ(ヤゴ) コオニヤンマ(成虫)



ネコノメソウ ニリンソウ タコノアシ

川や池で見られる生き物



カワセミ キセキレイ コサギ



アユ オイカワ ウキゴリ



アオサギ カルガモ オナガガモ



テナガエビ オオシオカラトンボ ハグロトンボ

このマップは、朝霞市の生物多様性市民懇話会にご参加いただいた環境関係団体の皆様にご意見をいただいたほか、自らの活動で見つけた生き物の情報や写真をご提供いただいで作成しています。

【懇話会参加団体】(順不同・敬称略)
 あさか環境市民会議 黒目川に親しむ会 埼玉県生態系保護協会朝霞支部 秋ヶ瀬野鳥クラブ
 朝霞基地跡地の自然を守る会、朝霞湿生植物保護の会、わくわく新河岸川みどりの会、新河岸川水系水環境連絡会

【情報提供】(順不同・敬称略)
 朝霞第三中学校理科クラブ、NPO法人自然観察指導員埼玉

【写真提供者】(順不同・敬称略)
 ■ あさか環境市民会議 ■ 黒目川に親しむ会 ■ 埼玉県生態系保護協会朝霞支部 ■ 秋ヶ瀬野鳥クラブ
 ■ 朝霞基地跡地の自然を守る会 ■ 朝霞湿生植物保護の会 ■ わくわく新河岸川みどりの会
 ■ NPO法人自然観察指導員埼玉

凡例 ——— 道路 ——— 鉄道 - - - - - 市域

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平27情使、第1011号)